

目次

1	県政のあらまし	3
2	県の財政	8
3	県の役割と組織	10
4	県の広報広聴	12
5	あいちのあらまし	14
6	あいちの産業	15
7	くらしの安心・安全	17
8	あいちの友好提携先	21
9	あいちのおいたち	22
10	くらしの相談窓口	24
11	県の施設ガイド	39

本誌の表紙は、サンデザイン専門学校 高地 紗矢 さんの作品です。

あいち県民福祉憲章

(1994年9月30日)

わたくしたち愛知県民は、互いに尊敬し合い、長寿を喜び合える「福祉あいち」をみんなでつくることをめざし、ここに憲章を定めます。

わたくしたちは、

- 1 健康に心がけ、生き生きとした人生をつくりまします。
- 1 家族のきずなを大切に、温かい家庭をつくりまします。
- 1 互いに助け合い、経験や能力を活用できる社会をつくりまします。
- 1 安全で、安心して暮らせる街をつくりまします。
- 1 明日を担う子どもたちが健やかに育つ社会をつくりまします。

「人権尊重の愛知県を目指して」の宣言

(1997年12月5日)

基本的人権の尊重は、我が国憲法の基本理念であり、すべての人々の人権が平等に尊重され、擁護されることが平和で幸福な社会をつくる礎です。

しかしながら、今なお、人権に関しては、依然として様々な問題が論議されています。

人権が尊重され、差別や偏見のない社会をつくるためには、行政はもとより県民一人ひとりのたゆまぬ努力が必要です。

本年は、日本国憲法及び地方自治法施行50周年の節目の年でもあります。

そこで、改めて人権の大切さを認識し、人権が尊重される郷土愛知の実現を目指して、県民とともに、なお一層の努力をしていくことをここに宣言します。

あいちの県民歌

1950年、第5回国民体育大会の愛知県開催を機に、歌詞を一般公募するなどして制定されました。

～われらが愛知～

力強く大きく 作詞 若葉清成 補作 西條八十 作曲 古閑裕而

Moderato ♩=104

き その あさぐも ひにーはえ て
く ろしほ ゆたーか にじーおどーる
う る わ し の われらがあ い ち
けんせつの いきもあらたに たくましき ちからあわせて
あー われーら わ が きょうーーど
ふるいおこさん

我郷土 振り興さん	ああ われら	たくましき力協せて	建設の意気もあらたに	うるわしの われらが愛知	黒潮ゆたか 虹おどる	木曾の朝曇 陽に映えて
たぐいなき 文化拓かん	ああ われら	待呼ぶ機場の歌に	雲をやく 産場のけむり	頼もしや われらが愛知	湧く生産の ときの声	黄金波うつ みどり野に
大愛知 進め築かん	ああ われら	我理想高くかざして	いざ聖き 世界平和に	弥栄の われらが愛知	港もまねく 船の数	光あつまる 中京は

県民歌は愛知県の公式 Web サイト「ネットあいち」で聴くことができます。

あいち 県民歌

検索

愛知県章



1950年、第5回国民体育大会の愛知県開催を機に一般公募され、全国からの応募作品1,600点の中から選定されました。

このマークは、「あいち」の文字を図案化し、太平洋に面した県の海外発展性を印象づけ、希望に満ちた旭日波頭（きよくじつはとう）を表しています。

あいちのシンボル

県の花 カキツバタ



在原業平朝臣が現在の知立市八橋を訪れたとき、そのあたりの花の美しさに旅情をなぐさめ、カキツバタの5字を詠み込んでうたった（伊勢物語）と伝えられています。1954年、NHK・全日本観光連盟などの共催により、郷土の花（県の花）に選定されました。

県の鳥 コノハズク



アジアやアフリカ、ヨーロッパに分布するフクロウ科の渡り鳥で、「声のブッポウソウ」の別名をもっています。1965年、愛知県鳥獣審議会の県民投票により、県の鳥に選定されました。

県の木 ハナノキ



愛知県を中心とした中部地方にのみ自生するカエデ科の落葉樹で、1966年、愛知県が県民投票により、県の木に選定されました。北設楽郡豊根村の茶臼山山麓にある「川宇連ハナノキ自生地」は、国の天然記念物に指定されています。

県の魚 クルマエビ



クルマエビは、頭部から腹部にかけてしま模様があり、体を丸めると車輪のようになることから、この名がつけました。1991年に南知多町で「第11回全国豊かな海づくり大会」が開催されるにあたり、1990年に県の魚に選定されました。